



いのち・性について考える 自分自身の性を見つめて



10月6日（月）に福祉センターで子育てまなび講座「いのち・性に関する講座」を開催しました。助産師の森仁美さんをお迎えし、「いのちの舞台裏～性を理解する神秘のデザイン～」と題して講演していただきました。森さんは、今までの性教育というのは、問題を避けるために、事前に情報を与えたり、対処法を教えたりする予防的な側面が大きかったけれど、自分が感じた気持ちを大切にすることが重要だとメッセージを伝えられました。「親になって、子どもに性に関する知識を教えなきゃいけない」「自分の子どもの頃には教わっていないけれど、どうやって話せばいいかわからない」と戸惑いを持たれる方も多いかと思います。森さんは、①完璧に伝えようとしなくてもよい②知識ではなく、感性を大事にしていく③親が自分自身の性を見つめて考えたことを子どもに伝えればよいと講演会を締めくくられました。講演会では、途中で二次元コードの質問に答え、会場に来た受講生みんなの思いを共有しました。1人1人が自分自身の性を見つめ直したり、他の保護者の考えを共有したりする充実した時間となりました。

44名の方と一緒に考えました。



受講生のみなさんの感想(一部抜粋)

- ・初めて専門の方から性についてのお話を聴くことが出来ました。自分の性を考えることから始まるという先生の言葉が印象に残りました。こうして勉強ができることもお母さんになったからと思うと子ども達に感謝です。
- ・子どもに伝える前にまずは自分の性を振り返ったり性についての認識を確認したりすることかなと感じました。どのように伝えたらいいかわからないと同様に子どもにとってもわからないこと、不安なことが今後増えてくると思うので、悩みを共有してどのようにしたらいいのと一緒に考えていけたらいいなと感じました。
- ・森先生の体験談をお聞きして、また自分の振り返りをすることで、自分自身の性を受け入れることが大切だなと感じました。子どもに話をする時も、子どもの話を聞く時も、聞く姿勢を大切に、否定しないようにしたいです。
- ・難しい説明はしなくても自分のありのままを子どもに見せればいいのかと思いました。
- ・子供に聞かれたら、一緒になって考えながら素直に答えていいんだなと思いました！
- ・自分が子供の時にどう感じていたかを思い出して考えたり、自分の経験したことを子供に伝えたりすることが、気楽に性について話せるのかなと思えました。
- ・自分も親に見守られて育ってきたので、自分もあまり詮索や心配などせず、見守りたいと思っています。(最低限必要なことは伝えつつ)

家庭教育学級 NEW トピックス

可児市立図書館展示パネル 11月16日まで



可児市内の乳幼児学級、家庭教育学級の様子が一目で分かります。現在、乳幼児学級生122名、幼稚園保育園の学級生671名、小中学校学級生2,686名が参加しています。市立図書館入口ドア付近に展示してありますのでぜひご覧ください。

可児市 子育て支援課 子育て応援係 山口 亜衣
電話：62-1111(内線5545) FAX：66-1005
E-mail: kosodate@city.kani.lg.jp

子育てまなび講座が

Youtubeで

見られます。

講演会に行きたいけれど、仕事が休めない、平日の午前中に行けない。そんな人のために、Youtube「かにチャンネル」で子育てまなび講座が閲覧できるようになりました。ぜひご覧ください。

【食品の安全 知っ得講座】

食育の進め方編→



← 食品添加物編

当日配布資料は可児市ホームページに掲載しています。